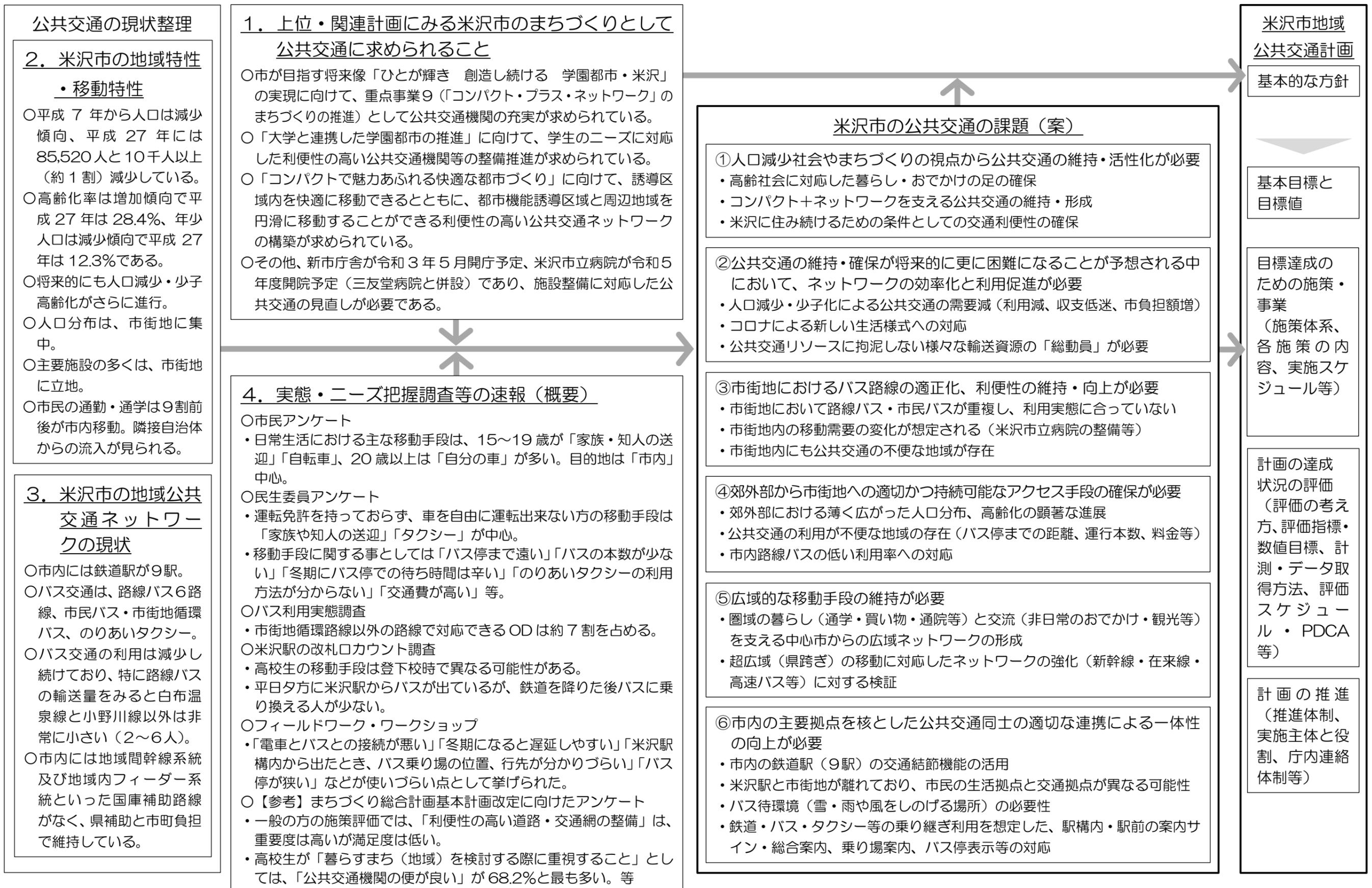
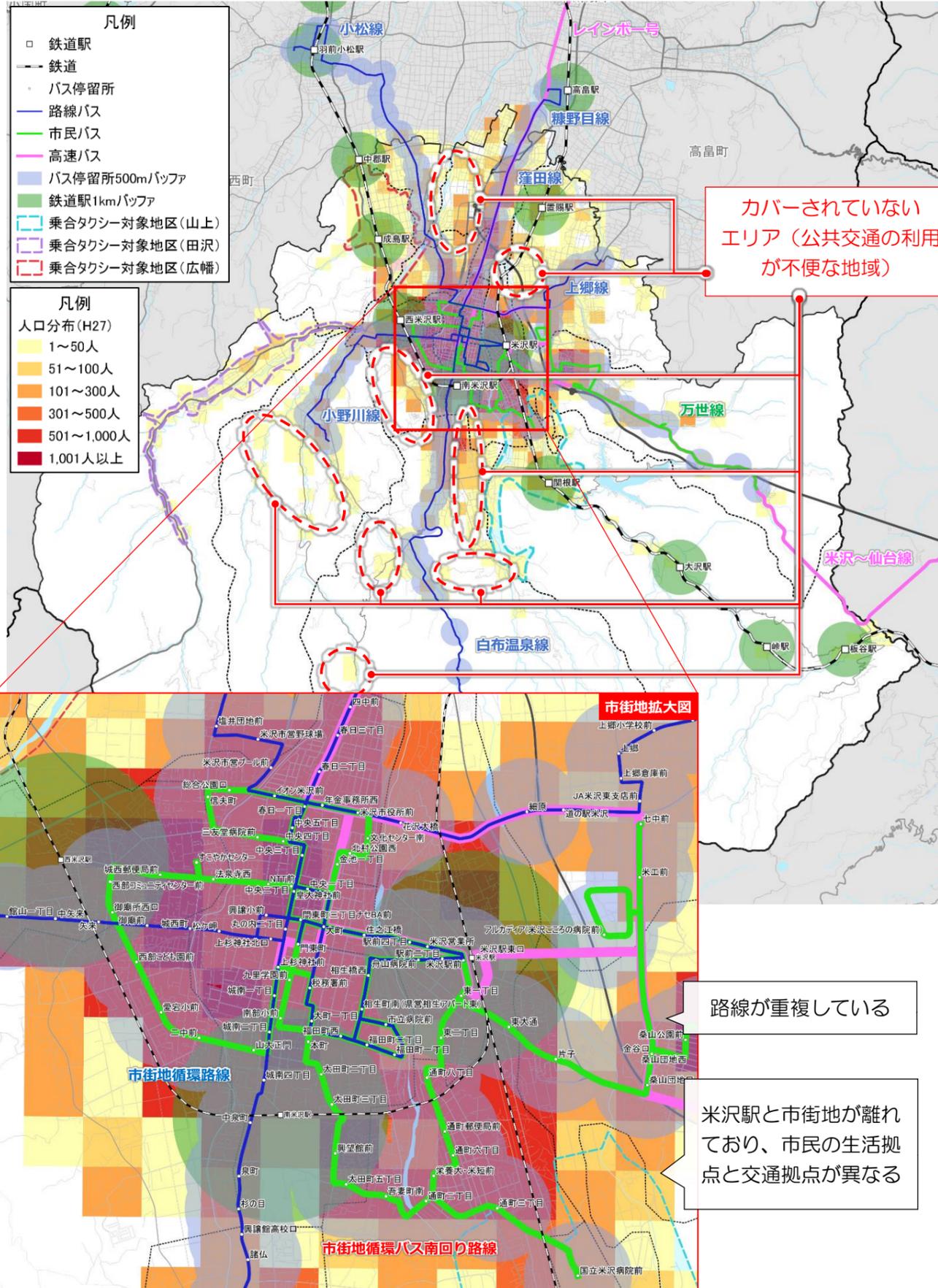


## 1. 米沢市の公共交通の課題（案） ～調査結果（速報）を踏まえた現時点版～



【米沢市の地域公共交通ネットワークの現状・課題図】



現状

運行面の課題

利用者や事業者からの要望

■白布温泉線

- 関小学校への通学、白布温泉への通勤、宿泊利用がみられる。
- 冬期になると興譲館高校の生徒も利用される。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。

■小野川線

- 館山局～米沢駅間の通勤、小野川温泉の宿泊客が利用。
- 冬期になると第三中学校の生徒も利用される。
- 冬期間の遅延、旧旅館春木屋付近の道幅が狭い。

■小松線

- 市外へ運行する路線
- 税務署前、イオン米沢店、舟山病院への通勤・買い物・通院利用が若干名みられる。
- 通学利用はあまりない。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。

■上郷線

- 日中帯において、花沢大橋～天神前まで利用が多い。
- 冬期になると始発に3~4名程度利用される。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。

■窪田線

- 九里学園の通学、通勤、買い物、通院利用がみられる。
- 冬期になると第四中学校の生徒も利用される。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。

■糠野目線

- 冬期になると、糠野目から窪田までの利用がみられる。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。

■市街地循環路線(左・右回り)

- 平日は通勤、通学利用が多い。車椅子の方や外国人も利用される。休日は買い物、観光が多く、行先としてはイオン米沢店が多い。
- 冬期になると学生の利用が多くなる傾向がある。
- 市立病院の堤防、冬期間は渋滞しやすく、滑りやすい。
- 市役所付近の道路は渋滞しやすく、次の便に間に合わないこともある。タイヤの見直しや時間調整をしたい。

■市街地循環バス南回り路線

- 平日は、米沢女子短期大学の利用が多い。平日・休日ともに買い物、通院利用がみられる。
- 冬期間の遅延、滑りやすい路面が多く運行に注意が必要。
- 米沢女子短期大学の時間割に間に合うようなダイヤ修正が求められている。
- 路線バスと循環バスの重複区間があり効率的な運行が必要。

■万世線

- 万世小学校、米沢東・中央高校への通学利用がみられる。
- 冬期になると米沢工業高校の生徒も利用される。
- 工業団地への利用はあまりみられない。
- 冬期は積雪により道幅が狭く迂回することもある。
- フリー乗降区間で利用者を見つけづらく対応に苦慮する。特に冬期は視界が悪い。

■のりあいタクシー(山上・田沢・広幡)

- 冬期において道幅が狭く運行時間が長くなる。
- 積雪のため自宅までは入れず、近くの道路に出てきてもらわなければならない。
- 田沢、広幡は1便あたりの人数が2人を下回っており固定客の利用が中心。利用者数を伸ばす取り組みが必要。
- 当日予約等の繁忙時における予約受付オペレーターの負担軽減。
- 初心者や慣れていない方への対応で時間が長くなるので、利用者への周知活動を強化して欲しい。

■その他の課題

- 新庁舎、米沢市立病院の移転を見据えた見直しが必要。
- 米沢駅構内から出たとき、バス乗り場の位置、行先が分かりづらく、鉄道・バス・タクシー等の乗り継ぎ利用を想定した、駅構内・駅前の案内サイン・総合案内、乗り場案内、バス停表示等の対応。
- 運転手の確保(市街地循環路線、万世線)